

秋山っ子

明るい子
強い子
正しい子



小学校で一度しか経験できないこと、それが「修学旅行」です。それだけに楽しみも大きいし、思い出として残るものもたくさんあります。その時は気にも留めていなかったのに、忘れられない思い出になっているということもままあります。さてさて、子どもたちの心にはどんな思い出が残るのでしょうか。



12日(木)の早朝に出発した旅は、予定にない「城山見学」から始まりました。鹿児島市の市街を見下ろして写真を撮ったり、俳句を作ったり……。途中、西南戦争で西郷隆盛が立てこもった洞窟も見ました。



その後、「イオ・ワールド」に行きました。興味の中心はジンベエザメとイルカショー？ いえいえ、一番の興味は土産物店だったようです。途中の魚たちはほとんど無視されて青ザメていましたよ。



昼前から、今回のメインイベント「自主研修」です。私たちは努めて手を出さないようにしましたが、2班とも協力して次々に目的地を探し出し、見学をしていました。あまりにもスムーズにいき過ぎて、ずいぶん早くバスに帰ったようでした。

1日目の最後は「維新ふるさと館」です。さすが、歴史を勉強中の子どもたち。資料を見たり、ビデオを見たりして、西郷隆盛や大久保利通など明治維新に活躍した人たちのことを熱心に調べていました。ロボット(人形)が演ずる劇も楽しそうに見ていましたが、中には口を開けて眠っている子も……。まあ、朝が早かったので仕方のないところでしょう。



さて、修学旅行の一番の楽しみといえば、やっぱりホテルでしょう。みんなで食べる食事給食とは違うし、何より部屋ではしゃぐのが楽しい。翌日、部屋で何をしたかを聞かれて「枕投げ」と答えていましたが、それにしておとなしく、行儀がよかったようです。

2日目最初の見学は「知覧特攻平和会館」です。開館と同時に会議室に入り、当時の様子を話していただきました。何度聞いてもかわいそうな話ですが、この年になるとわが子とダブってしまい、余計に悲しくなります。戦争を起ささないために何が必要か、考えさせられますね。



その後、いよいよ最後の見学地「平川動物園」です。ここでのお目当ては、もちろん遊園地。足早に動物の間をすり抜け、いざ遊ばん！自分の子どもの頃を思い出します。時代は変わっても、こういうところは変わりませんねえ。



さて、楽しかった旅行も終わりに近づきました。フェリーで桜島に渡り、記念撮影をしているその時に大噴火。桜島も、修学旅行の思い出のひとつまにとサービスをしてくれたかのようです。みんな仲良く、楽しい、本当にいい修学旅行でした。